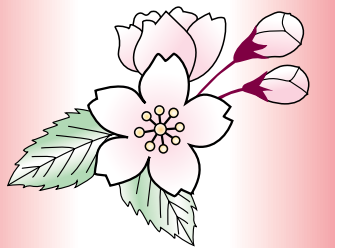


総括質問



総括質問とは、市長就任時に行われる所信表明または施政方針に対する質問で、2人以上で構成する会派による代表制の質問のことです。

今定例会では、3月4日の本会議において、5名の議員が会派を代表して総括質問を行い、市長の施政方針に対して考えをいただきました。ここに掲載したのは、その概略です。

なお、施政方針の内容は、4月1日号の「広報戸田市」に掲載されていますので、そちらをご覧ください。

市政運営の基本方針は

21世紀クラブ 栗原 隆司 議員

新年度導入の事務事業評価システムを一つの手法として、事務事業を総合的に見直すことが、行政経営の経済性であると考えています。



▲新緑のうしろには富士山が

議員 ワークショップ活動の中に、市長の考え方に近い人や後援会の役員を入れると、形骸化してしまう。細心の注意が必要と思うが。

また、その負担を後年度にどのように計画的に割り振っていくのか。

議員 自立都市に向けた行政改革として、企業の経営手法を取り入れるとしているが、利益を追求する企業と、行政の経済性をどのように整合させるのか。

市長 顧客満足、顧客第一主義の企業と、市民ニーズや満足状況を把握して、サービス向上を目指す自治体の行政経営理念は、共通するものがあります。限られた財源では、必然的に施策の選択の必要があり、その基準などの決定づけは確立していませんが、

議員 下水道を敷設するには、これだけのまちづくりをすることが最低条件です、という計画案を早期に示すべきと考えるが。

日本共産党 望月 久晴 議員

自立した都市とは

議員 「自立した都市」とは、国や県の施策を越えた先進都市と考えているが、具体的なイメージ内容は。

市長 まちづくりにおいて、戸田市の特性を生かし、個性あふれ、市民と市民が互いに助け合い、市民と行政が力を合わせて築き上げる戸田市独自の施策やサービスを備えたまちが、自立した都市の一つの姿ではないかと考えています。

また、重要な課題を解決するために、自己決定、自己責任を前提として、必要な人材や財源などの多くを、自前で賄える都市といったイメージであります。

学ぶことが重要と思うが。

市長 市民の視点で行政を行うことは、とても重要で、職員も、みずから地域の中に入って市民と一緒に考え、活動し、一市民としての役割を積極的に担う、といった態度を育成しなければならぬと考えます。

同時に、政策形成能力を培える効果的な研修の実施や、市民の声を常に念頭に置いて、行政を行う体制づくりを一層推進してまいります。

高齢者や子どもに対して

議員 社会的弱者である、

高齢者や子どもに対するやさしい政策として

①高齢者の住宅対策は。

②保育園入所の緊急対策は。

市長 ①現在実施している高齢者世帯賃貸住宅家賃差額助成事業や、高齢者居室等整備資金融資事業の充実を図ってまいります。

②新曽保育園の改築による20人の拡大と、喜沢南保育園と新曽保育園での一時保育の拡大、さらに2月に、新たに家庭保育室を市内1カ所指定し、全体で10カ所となり、入所待機児童の解消が図られるものと考えております。



▲ぶつからないようにネ

新曽中央地区 まちづくりは

自民クラブ 召田 均 議員



▲障害者の認可施設の設置を

可施設の設置の検討を。

市長 現在、障害者計画を策定中ですが、その中の重点施策として、知的障害者更正施設(入所、通所)の整備を進める計画を立てています。

心身障害者地域ケア施設は、施設運営等については市がすべて負担していますが、認可施設にありますが、補助金が多くと、国からの補助金が多く得られることから、今後の整備に当たっては、認可施設を考えております。

商業活性化対策は

議員 相次ぐ大型スーパーの進出で、個人商店はぎりぎりの所まで来ている。今年も商品券の発行をするなど、商業活性化対策を。

市長 商工会や商店街連合会などとの連携をさらに強め、今までの手法にとらわれないこと、積極的に商業振興に意を尽くしていきたいと考えています。

心身障害者の福祉施策は

また、住居表示の実施については、まちづくりが進む中で、都市計画道路などの基盤整備事業の進捗に併せて、前向きに検討してまいります。

議員 本市の心身障害者施設の絶対量が不足している。財政上、あるいはその後の運営という問題もあると思うが、入所を取り入れた認